



東日本集会

2026年2月28日(土)
開場12時30分開会13時
上野水上音楽堂

JR上野駅(公園口)から
徒歩約5分
湯島駅出口1から
徒歩約2分



2026年3月1日(日)
開場9時30分開会10時
神戸芸術センター

JR新神戸駅から徒歩4分



26春闘をともにたたかう金属労組懇談会 ☎03-5961-5601(事務局JMITU)

裁判・労働委員会スケジュール

以下に今後のスケジュールをお知らせします。

定年後再雇用不当労働行為事件 2/19(木) 10:30 中央労働委員会会議室

真実を伝える
組合機関紙

かいな

JMITU(日本金属製造
情報通信労働組合)
日本アイビーエム支部

東京都港区赤坂2丁目20の6
5F 〒107-0052
TEL: 03-3583-9037
FAX: 03-5562-0853

定価 月 500円

26春闘アンケート 一言メッセージ 従業員から怒りの声、切実な声、多数

26春闘アンケートにご回答頂いた従業員の皆さん、ご協力誠にありがとうございます。

組合が毎年実施している春闘アンケートには、選択肢方式の回答を頂く設問と、ご意見として一言メッセージ(フリーコメント)を記入頂く設問があり、春闘アンケート結果は選択肢方式の回答を集計・数値化し、一言メッセージは分類してまとめています。

組合は毎年、春闘要求書において、春闘アンケート結果を元に、従業員の意見として一言メッセージのまとめを、さらに数値として生活実感、職場の不安・不満、要求する賃上げ水準を掲載し、会社に提示しています。

26春闘アンケートはまだ回答受付中です。今からでも是非ご回答下さい。JMITU日本IBM支部ホームページ上部にある「各種アンケート」から「2026年春闘アンケート」をクリックして表示、回答して下さい。

さて、26春闘では、なんとしても物価高騰から暮らしをまもる大幅賃上げを勝ち取らなければならないなか、春闘アンケートには一言メッセージとして怒りの声、切実な声を多数頂いております。

以下に26春闘アンケートに一言メッセージとして頂いた日本IBMグループの従業員の皆さんの声を紹介します。(以下のサポート系、マーケティング系、事務系、その他は職種の表記です。)傾向としては、定年後の賃金・労働条件についてのご意見がずば抜けて多く、65歳までの定年後再雇用時の暮らし、さらにその後の暮らしに不安・不満が渦巻いていることが一目瞭然です。

定年後の賃金について

・再雇用の賃金が大企業の割には低すぎるので早急に改善して欲しい。(本体正社員・マーケティング系・50代)
・シニア雇用の給与改善を求めます。(シニア契約社員・その他)

社員・その他)

・再雇用の賃金が安すぎて困ってます。(本体正社員・マーケティング系・50代)
・プロフェッショナルブルーにして(賃金を上げて)ほしい。(シニア契約社員・サポート系)
・社員としシニア雇用社員の待遇を同じにしてほしい。(シニア契約社員・サポート系)
・正社員と同等(の賃上げをしてほしい)。(シニア契約社員・その他)
・(賃上げが)インフレに対応してほしい。(シニア契約社員・事務系)
・とにかく物価上昇に見合う賃金にして欲しい、基本在宅勤務だが在宅勤務手当なども支給して欲しい。(シニア契約社員・その他)

定年後の労働条件について

・他の会社ではライン職は55才定年で一般人は定年まで勤務できるがIBMは逆で一般人はリストラされて、ライン以上はプロフェッショナルブルーにて60才以降も働いている。一般職もプロフェッショナルブルーを認めてほしい。(シニア契約社員・その他)
・シニア雇用の契約書に賞金ありと記載されていますが、社員しかもらってない。会社負担(7000円?)をシニア雇用は貰えないためか行事に呼ばれない。(シニア契約社員・サポート系)
・高市政権は「シニア世代の方々が幸せで輝いて見える」のが良いと言っているが65歳で雇止めを黙認しており、実効確保がされてない。何のために首相に権力を持たせているのか意味不明。「人生100年時代」はただのリップサービス。人生100年ならば100歳までは雇止めさせない実効確保するのが首相の責任。(シニア契約社員・事務系)
・65歳雇止め。いろいろ調べているが、「無期転換ルールの継続雇用の高齢者に関する特例」(第二種計画認定のこと)がある。つまりシニア契約社員は無期転換できないということだ。65歳雇止めについて(2面に続く)



(1面から続く) 国会で追及してもらいたい。(シニア契約社員・事務系)
 ・70歳まで勤務希望。(シニア契約社員・その他)
 ・IBM60歳以降の待遇が、キンドリルの1年後に真似しているように思える。来年IBMが65歳定年延長になればシニア雇用社員には退職するかわりに一時金1000万円を渡してほしい。(シニア契約社員・サポート系)

老後資金について

・インフレを考慮すると、老後資金が不足している
 ・お金を貯めるために、かなり節約している。
 (本体正社員・サポート系・40代)

会社の現状と将来について

・GoogleとIBMのように、「日本労働法を守るふりをして陰で日本法は守らない外資系」の手口が次第に世間に認識されはじめた。学生から敬遠されるので、会社の将来はない。(シニア契約社員・事務系)
 ・人事が日本に無いのはブラック認定です。ローカルの法は守ってもらわないと同友会の名が泣きます。(シニア契約社員・事務系)
 ・安心で安全な職場になってほしい。(本体正社員・サポート系・50代)
 ・会社の購買や人事関係の問い合わせ等全て海外

に集約せず、各国ユニークな事柄があるので、担当問合せ先を置くようにしてほしい。(シニア契約社員・その他)

・シニア契約社員で稼働率60%ないとローパフォーマー認定とか、一方では契約内容しかしてはいけない、判断はしてはいけないと言っておきながらほんとブラックです。(シニア契約社員・事務系)

職場で現在困っていること、悩んでいること

・仕事量が多く、代わりがないので休めない。(本体正社員・サポート系・50代)
 ・ロールと仕事内容の不一致。(本体正社員・サポート系・50代)
 ・一人だけメールや情報をもらえない。(ハラスメントを受けている。)(本体正社員・サポート系・50代)
 ・現在の部署の所属長が、アドミが苦手な人で、社内の情報連携が遅い。(本体正社員・サポート系・40代)
 ・給与支給額のミスが多く不安があります。(本体正社員・事務系・30代)
 ・(基本在宅勤務だが)コミュニケーションも取りたいので週一程度出勤を希望する。(シニア契約社員・その他)

26春闘闘争宣言行動 ～ストライキを構え大幅賃上げを要求しよう

26春闘に向けた行動が本格化しているなか、国民春闘共闘委員会と東京春闘共闘会議は、1月14日、東京都内で「26春闘闘争宣言行動」を実施しました。

この行動は、26春闘を内外にアピールする行動で、お昼前の厚生労働省前行動から始まり、お昼休みの時間に丸の内から経団連に向かってデモ、最後に経団連包囲行動を行いました。



丸の内デモを行うJMITUの参加者

経団連包囲行動では約400人の参加者が経団

連前に集結、横断幕やプラカード、のぼり旗をかかげ、「すべての労働者の大幅賃上げ・底上げを」をスローガンに26春闘を経団連にアピールしました。行動は、冒頭の秋山国民春闘共闘代表幹事・全労連議長の主催者挨拶、続く4人の決意表明のあと、最後に参加者全員で「大企業は内部留保を賃金にまわせ、物価高騰以上のベースアップを行え、大企業は社会的責任をはたせ」とシュプレヒコールをあげました。



経団連前でシュプレヒコールをあげる参加者

大田地域支部 旗びらき開催

1月24日、大田区消費者生活センター(東京都大田区)において、JMITU大田地域支部の旗びらきが開催され、日本IBM支部からも参加しました。当日は多くの組合員や関係者が参加し、地域支部としての新たな出発を確認する場となりました。

旗びらきは大田地域支部の有馬副委員長の司会により進行されました。冒頭の開会の挨拶に続いて同支部の下山田委員長が挨拶、大田地域支部結成に至った経過と、今年の活動に向けた決意が述べられました。地域に根ざした活動を進め、組合員同士のつながりを大切にしていくことの重要性が強調され、参加者は改めて大田地域支部の役割を共有する機会となりました。



挨拶する大田地域支部の下山田委員長

来賓からは、JMITU東京地本、大田労連、大田区労協の各関係者より挨拶が行われ、日頃の取

り組みへの評価や、今後への期待が寄せられました。地域で連携しながら身近な課題に向き合っていくことの大切さが語られ、参加者の間で認識が共有されました。その後、TSP分会の田頭さんの発声により乾杯が行われ、和やかな雰囲気の中で交流が進められました。

続いて、南部法律事務所の堀弁護士から、労働法制をめぐる現状や争議についての話があり、参加者は身近な課題として理解を深めました。あわせて、朗読やチェロ、ウクレレの演奏が行われ、文化的なプログラムを通じて参加者同士の親睦が深められました。こうした企画により、集会全体は親しみやすい雰囲気に包まれました。

会場では終始なごやかな雰囲気の中、参加者同士の交流も図られ、日頃顔を合わせる機会の少ない組合員同士が言葉を交わす姿も多く見られました。参加者からは、地域で集まる意義を実感したとの声も聞かれました。



「団結してがんばろう」を三唱する参加者

後半では、参加者紹介および争議団紹介が行われ、早稲田アカデミーと日本IBMの各争議団から、それぞれの争議の状況や取り組みについて報告が行われるとともに、争議支援の要請が行われました。現場の声が共有されることで、組合活動の意義や課題について理解を深める機会となりました。

集会の締めくくりには、同支部の高橋副委員長の音頭により団結の確認が行われ、参加者全員で「団結してがんばろう」をこぶしをあげて三唱しました。会場は大きな拍手とともに一体感に包まれ、今回の旗びらきを通じて、大田地域支部としての基盤が固められるとともに、地域に根ざした活動を着実に積み重ねていく決意が参加者の間で共有されました。

組合なんでも相談窓口

会社名	事業所名	職 場 名	氏名	電話番号
Kyndryl	六本木	サービスエクセレンス	笹目 芳太郎	080-5915-6329
IBM	箱崎	コンサルティング	カン ミニ	070-8786-0357
IBM	箱崎	I J D S . 産業事業部	猿渡 隆史	080-9099-6263

事務所連絡先 TEL 03-3583-9037 (月水金 13-16 時・除休日) FAX 03-5562-0853
 メール: kumiai@jmitu-ibm.org WEB: http://www.jmitu-ibm.org/

注) 上記窓口は事業所にこだわらず、連絡のとれる電話番号へどうぞ

法律相談	労働問題・民事一般相談受付 (要予約)			
東京法律事務所	弁護士 水口洋介、今泉義竜、本田伊孝	http://tokyolaw.gr.jp/ 東京都新宿区四谷 1-4 四谷駅前ビル TEL 03-3355-0611 (代)		
旬報法律事務所	弁護士 大熊政一、山内一浩、並木陽介、細永貴子	http://junpo.org/ 東京都千代田区有楽町 1-6-8 松井ビル 受付 7F TEL 03-3380-5311 (代)		
桜木町法律事務所	弁護士 岡田 尚	横浜市中区山下町 207-2 関内 JSビル 6 階 TEL 045-212-1503		
ほづみ法律事務所	弁護士 穂積匡史	http://hozumi-shinyuri.jp/ TEL 044-959-3550 川崎市麻生区上麻生 1-6-1 かわしん新百合ヶ丘ビル 305 号		